

【中小企業振興円卓会議】 令和7年度専門部会 活動成果報告書

活動名	中小企業振興条例実践サミット
部会名	中小企業振興条例実践サミット
部会長・副部会長名	部会長 和田 寿博・副部会長 淵上 悟・委員 桑波田 健
代表団体名	中小企業振興条例実践サミット実行委員会
構成メンバー	実行委員会:松山市中小企業振興円卓会議委員 オブザーバー:講師等 協力:松山市
事業期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
事業費 (うち補助金)	350,000円 (350,000円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を簡条書きで記載)</p> <p>中小企業振興基本条例実践サミットを開催し、令和7年3月に策定した松山市中小企業振興計画(第2期)を紹介し、条例の理解を深め、中小企業に携わる人が交流する活動を行った。</p> <p>○サミットの実施 ※詳細は、別紙参照 日時:令和7年11月19日(水)13時30分~16時30分 会場:愛媛大学 城北地区 共通講義棟B 参加者:約100名 開会 開会あいさつ 松山市中小企業振興円卓会議座長 和田 寿博 来賓あいさつ 愛媛大学学長 仁科 弘重 松山市副市長 田淵 雄一郎</p> <p>第1部 基調講演「基本条例・調査・振興計画を学ぶ！」 (1)演題:中小企業振興基本条例の実践 講師:慶應義塾大学 教授 植田 浩史 氏 (2)演題:松山市の中小企業の振興に向けた調査研究と『振興計画』 講師:一般財団法人地方自治研究機構 主任研究員 山本 史門 氏 (3)演題:松山市中小企業振興計画(第2期) 講師:松山市 産業経済部 ふるさと納税・経営支援課</p> <p>第2部 分科会 中小企業の実態と支援策を交流する！ テーマ:(1)基本条例の理解と実践 (2)中小企業の実態と振興計画 (3)円卓会議の活動 (4)人材確保・育成 (5)ダイバーシティ推進 (6)DX推進 (7)起業・商品開発・販路開拓 (8)金融と税 (9)賃金と公正取引 (10)地域振興</p> <p>松山市中小企業振興条例実践サミット宣言 松山市中小企業振興円卓会議座長 和田 寿博</p>
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を簡条書きで記載)</p> <p>別紙のとおり</p>
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を簡条書きで記載)</p>

【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類(任意様式)
- 収支決算見込書

【中小企業振興円卓会議】
令和7年度専門部会 収支決算見込書

資料1-1

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
活動費	350,000 円	350,000 円	0 円	中小企業振興円卓会議 (松山市補助金)
	円	円	0 円	
合 計	350,000 円	350,000 円	0 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
報償費	200,000 円	248,246 円	-48,246 円	講師謝礼 (2名分。交通費宿泊代込み)
印刷製本費	50,000 円	74,219 円	-24,219 円	案内チラシ及び当日配布資料印刷、 封筒代
使用料及び賃借料	50,000 円	0 円	50,000 円	
人件費	50,000 円	27,535 円	22,465 円	記録作業等 学生 1200円×2h×5名 報告書編集 学生 1200円×3h×3名 事務作業 同友会事務局 4,735円
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
合 計	350,000 円	350,000 円	0 円	

中小企業振興基本条例実践サミットにあたって

2025年11月19日

松山市中小企業振興円卓会議 座長 和田寿博

2025年の経済・社会情勢のもとで、中小企業・小規模企業が地域の主人公として活動すること、また産官学連携によって中小企業振興を図ることが求められています。2014年3月、松山市中小企業振興基本条例が公布され、基本条例に基づいて中小企業振興円卓会議は中小企業の実態の理解や中小企業支援策の検討、松山市は基本条例に基づいて中小企業の実態調査と中小企業振興計画の策定、中小企業支援策の実施などの実践を始めました。松山市の基本条例は制定当時、愛媛県中小企業家同友会などの中小企業経営者や商工・経済団体、金融機関関係者、学識経験者などが切望し、自ら学習を重ね、松山市地域経済課（現ふるさと納税・経営支援課）を相談相手として、民間主導で制定されました。松山市の基本条例の実践は、東京都墨田区、大阪府東大阪市や大東市、北海道帯広市や別海町などに学んだものであり、沖縄県那覇市や南風原町、福岡県田川市、広島県呉市、香川県丸亀市、奈良県広陵町、福島県福島市、宮城県仙台市など、全国の中小企業経営者や自治体職員、関係者と共に中小企業振興を目指してきました。

松山市の基本条例の実践は、推進組織として民間主導によって市行政から独立した中小企業振興円卓会議を設置し、年3回の会議を開催し、中小企業の実態の理解や中小企業支援策を検討してきました。また円卓会議のもとに専門部会を設置し、創業支援、人材育成、販路開拓、働き方改革など松山市の中小企業支援策に対する調査、検証、改善提案をしてきました。委員は子どもたちの職業観を育成する教材の開発、女性や育児をする保護者の働き方を検討するセミナーの開催、中小企業で働く若者や経営者の意識調査、中小企業の働く環境の整備や人材募集と育成、DX推進、松山しごと創造センターの発展などに取り組み、松山市の中小企業の活動の活性化や中小企業支援策が生まれました。

円卓会議は学習と交流に取り組み、2014年7月28日、愛媛大学を会場に、基本条例施行記念シンポジウムを開催し、植田浩史・慶應義塾大学教授から基本条例実践の目的・経験・教訓を学び、松山市、東温市の委員の代表が交流しました。2018年10月26日、愛媛大学を会場に、中小企業振興基本条例実践サミットを開催し、植田浩史・慶應義塾大学教授から他の自治体での基本条例実践を学び、松山市、東温市、那覇市、丸亀市、鳴門市で基本条例の実践を担う委員と産官学関係者が交流しました。2020年以降、コロナ禍期間にも松山市の基本条例の実践を継続し、中小企業の実態と中小企業支援策を提案しました。

松山市は2024年度に「松山市の中小企業の振興に向けた調査研究」をふまえた『中小企業振興計画』【第2期計画】を策定して中小企業振興に取り組み、円卓会議はこの取り組みに尽力しました。

2025年、中小企業は地域の主人公として役割を担うとともに、中小企業が抱える諸問題、例えば、人材確保と育成、ダイバーシティ経営、DX推進、起業・商品開発・販路拡大、金融と税、賃上げと公正取引、地域振興などに対処することが必要です。また中小企業を取り巻く経営環境、政府・自治体の政策の変化、円卓会議委員や事務局を担う市職員の交代、愛媛県内や全国での基本条例実践などが進んでおり、今一度、基本条例の原点に立ち返り、実践の総括と展望を図るため、円卓会議委員、事務局員、産官学関係者の交流が必要です。この度、中小企業振興基本条例実践サミットを開催し、(1)基本条例の実践の理解促進、(2)「松山市の中小企業の振興に向けた調査研究」と『中小企業振興計画』【第2期計画】の理解促進、(3)中小企業支援策についての意見収集と交流を行います。

松山市中小企業振興基本条例の実践によって、中小企業経営者や働く人、住民が「幸せになろう」を実感できるまちづくりを目指しましょう。松山市の中小企業振興の取り組みを日本と世界に伝えましょう。

【プログラム】

13：25 開会前 記念撮影

13：30～13：40 開会行事

総合司会 淵上悟（松山市中小企業振興基本条例円卓会議副座長）

開会挨拶 和田寿博（松山市中小企業振興基本条例円卓会議座長）

来賓挨拶 愛媛大学学長 仁科弘重 様

松山市長 野志克仁 様（代理：副市長 田淵雄一郎 様）

13：45～15：25 第1部 中小企業振興基本条例の実践と実態調査および振興計画

13：45～14：30

講師：植田 浩史（慶応大学教授）

演題：中小企業振興基本条例の実践

14：30～15：10

講師：山本 史門（一般財団法人地方自治研究機構調査研究部主任研究員）

演題：松山市の中小企業の振興に向けた調査研究

15：10～15：25

報告：松山市役所 産業経済部 ふるさと納税・経営支援課職員

演題：松山市中小企業振興計画（第2期）

15：30～16：15 第2部 分科会

15：30～16：10 分科会

*主題ごとに分科会で交流 *委員・事務局・講師・招聘者の分担（欠席を含む）

*出席47人 *愛大生（記録係）7人 松大生（傍聴）20人

①基本条例の理解と実践（事務局：近藤 助言：植田） 5人

②中小企業の実態と振興計画（委員：政金公・伊藤 事務局：渡邊 助言：山本 東温市・氏部） 6人

③円卓会議の活動（委員・座長：和田 愛信：白石 助言：東温市・関家） 3人

④人材確保・育成（委員・副座長：淵上 愛ワク：寺尾 事務局：内山 助言：東温市・桑原） 5人

⑤ダイバーシティ経営（委員：WLC・堀田 中央会：西山） 5人

⑥DX推進（委員：中小同友会・桑波田 伊予銀：松本） 4人

⑦起業・商品開発・販路開拓（委員：商議所・戸嶋 事務局：正岡） 5人

⑧金融と税（委員：愛媛銀：岡田 助言：米田 事務局：小西） 4人

⑨賃金と公正取引（委員：松短大・黒田 助言：公取四国・清水） 4人

⑩地域振興（委員：愛大・前田 北条商工会・伊藤 中島商工会・二宮） 6人

16：10～16：25 分科会報告（分科会から選抜）

16：25～16：30 閉会行事

閉会挨拶：条例実践サミット宣言 和田寿博（松山市中小企業振興基本条例円卓会議座長）

16：30 懇談など

中小企業振興条例実践サミット 宣言

2025年11月19日

松山市中小企業振興円卓会議 座長 和田寿博

(1) 私たち中小企業振興基本条例実践サミットの参加者は、中小企業・小規模企業は地域経済と社会において重要な存在であり、中小企業振興基本条例の実践は中小企業・小規模企業、自治体や地域の発展の柱であることを確認しました。私たちは本日の学びを活かして中小企業振興基本条例の実践を担い、中小企業・小規模企業、自治体や地域の振興にいっそう貢献しましょう。

(2) 中小企業・小規模企業経営者、商工・経済団体、金融機関、支援機関、労働団体をはじめとする市民、諸パートならびに行政機関は、中小企業振興基本条例を柱に、中小企業・小規模企業の実態を調査し、『中小企業振興計画』を策定し、中小企業振興策を検討し、中小企業・小規模企業を振興しましょう。

(3) 中小企業振興基本条例の実践によって、中小企業・小規模企業経営者や働く人、住民が笑顔になり、「幸せになろう。松山市」を実感できる自治体づくりを目指しましょう。

(4) 松山市を中小企業・小規模企業が活躍する自治体、中小企業・小規模企業を振興する自治体として、日本と世界に伝えましょう。

以上

中小企業振興条例実践サミット 振り返り（サミット宣言に即して）

●宣言：参加者への自覚を促すものとして大変よかった。／松山市は中小企業を応援する街だということを表明でき意義深かった。／宣言に基づきこれからも委員の役割を遂行したい。／大事な理念が示されており、あとは地域、地域の中小企業がどのような強みを持っているのか、持てるのか、自治体がそれをどのようにソフト支援するのか（又はハード創出していくのか）だと思いました。

(1) 基本条例実践事例が分かりやすく、地域が活性化し良くなっている事が分かった。地域が活性化することの成果に繋がる条例をきめること、そして中小企業の経営者がそのことに対して役割をはたすこと、行政の役割、学校の役割、一緒になって大事と思った。／基本条例の実効性が問われている。個別具体的な地域課題に対応した仕組みづくりが求められている(円卓会議に経営者が参加する小グループの設置など)。／条例や計画からの実践が必要だ。

(2) 松山における事業所の現状と課題が理解できて今後の活動の参考になった。／国全体の広い範囲でなく、松山市の中小企業にフォーカスした調査研究結果は新鮮だ。／当市（松山市以外）でも現状把握調査をしたいが予算の都合があり調査方法などを参考にさせていただきたい。調査結果について当市と共通、相違があり興味深かった。当市とは規模が違うが基本施策や数値目標など参考になった。／新しい振興計画を作ることが目標になって実際に中小企業のためになっているのかとの指摘があり考えさせられた。座長と講演者と松山市職員が同じことを言っていることで分かり易さと安心感を得た。

(3) 第1部の説明、第2部への分科会へと行く繋がりが明確になった気がして良かった。／ざっくばらんな意見交流が出来て有意義な分科会となった。／時間が短かったが活発な意見が出た。実際の事業者がいたためより現実的な話が聞けてよかった。／松山市と当市の円卓会議委員の構成の違いなど参考になった。事業所としての参加と組織（所属団体）の代表として参加するのでは意見が変わってくるのだと感じた。／時間が短くもう少し議論ができればよかった。

(4) 松山市以外に拠点がある参加者が多数で新鮮な気づきがありました。計画の内容については良いが、松山らしさをもっと出しても良いのでは、と貴重な助言をいただけたので有意義でした。

●総論：こういう会議は初めてで新鮮でよかった。分科会はもう少し時間がとればより活発な意見交換が出来る。／原点に返り改めて学び直すきっかけとなりよかった。／基本条例は何度となく聞く機会があったがよく理解していなかった、今回は理解する機会になり良かった。／定期的に開催して中小企業が主役の地域循環経済を作る起爆になっていけばよい。／回を重ねるほどに松山らしさがより見える、特徴的な取組、実践が見える会になれば素敵だなと思う。振興計画もどんどん各論化が進むと良いと思う。

【サミット 振り返りアンケート】 近日中に記入ください。



入力フォーム：https://docs.google.com/forms/d/1PhIkSj8m01S8Y84eGUoXA1WCskGaQgLvPRAMBp_5LF4/edit

【参考文献・論文】

- 植田浩史 [2007] 『自治体の地域産業政策と中小企業振興基本条例』自治体研究社
- 和田寿博 [2019] 「2010年～2018年度の松山市中小企業振興基本条例の実践」『愛媛経済論集』38(2)
和田寿博[2019] 「中小企業振興基本条例実践サミットの概要と課題」『愛媛経済論集』39(1)
和田寿博[2019] 「コロナ禍以降の中小企業の経営実践と中小企業振興基本条例の実践」『愛媛経済論集』43(1)

【参考サイト】 検索キーワード

松山市中小企業 松山市中小企業対策事業 松山市中小企業振興円卓会議

一般財団法人地方自治研究機構 中小企業振興に関する条例

以上

【中小企業振興円卓会議】
令和7年度専門部会 活動成果報告書

活動名	働きやすい職場づくり実践事業
部会名	健康経営推進部会
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟
代表団体名	公益社団法人 松山法人会
構成メンバー	公益社団法人 松山法人会
事業期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
事業費 (うち補助金)	1,405,010円 (1,400,000円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>1. 健康経営アウトリーチ支援 健康経営の取組みを支援し、2026年度「健康経営優良法人」認定(経済産業省)の申請支援を行う ○支援の状況 事業所A(小売業)7/11、9/4、9/25、10/6 事業所B(保険代理業)7/18、8/22、9/9 事業所C(エネルギー)7/31、9/8、9/22 事業所D(建設)9/10、9/17、10/1 事業所E(卸売業)9/9、9/17、10/7 ・合計5社 支援数合計16回(社会保険労務士、中小企業診断士同行) ・支援内容:推進計画の策定、アンケート調査・ヒアリングによる課題抽出、 制度づくり、認定基準をクリアするためのツールの共有 ・「健康経営優良法人2026」認定の申請:認定企業数 5社/支援企業 5社</p> <p>2. 健康経営導入セミナー ・健康経営に取り組む事業所の掘起しを目的にセミナーを実施 (1)令和7年8月27日(水)「健康経営」導入セミナー 演題:「自分と会社を元気にする健康経営のススメ」 講師:特定非営利活動法人こころ塾 代表理事 村松 つね 氏 対象:働きやすい職場づくり優良BANK事業所 参加事業所数:14名(9事業所) (2)令和7年9月30日(火)「健康経営」導入セミナー【法人会主催事業】 演題:「はじめての健康経営」 講師:協会けんぽ愛媛支部 担当職員様 対象:一般事業所 参加事業所数:47名(43事業所) (3)令和7年12月9日(火)「健康経営」導入セミナー 演題:「人が育つ会社が伸びる健康経営セミナー」 講師:有限会社大豊陸送 代表取締役社長/公認心理士・臨床心理士 柴田 智恵 氏 対象:働きやすい職場づくり優良BANK事業所 参加事業所数:14名(9事業所)</p> <p>3. 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」の活用 ・Bankの登録企業数 5社追加登録 総登録数:55社→60社</p>
課題・提案等	<p>・健康経営の重要性は経営者も理解しているが、より効果的な取り組みは何かを探る余裕はなく、他社事例の共有やツールの提供を求める声が多かった。今後更新事業所を支援する中で、取組の効果についてもヒアリングを行い支援企業に共有していきたい。</p>
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p>

【中小企業振興円卓会議】
令和7年度専門部会 収支決算見込書

資料1-2

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
松山市補助金	1,400,000 円	1,400,000 円	0 円	
法人会負担	127,039 円	5,010 円	122,029 円	
事業費 (うち補助金)	円	円	円	
	円	円	円	
合 計	1,527,039 円	1,405,010 円	122,029 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
人件費	562,500 円	769,958 円	-207,458 円	
人件費	104,760 円	162,218 円	-57,458 円	法定福利費、通勤手当 (雇用保険、労災保険)
報償費	240,000 円	186,725 円	53,275 円	専門家謝金、セミナー講師謝金
需用費	224,545 円	33,000 円	191,545 円	チラシ作成費
旅 費	22,200 円	1,727 円	20,473 円	駐車場代
使用料及び賃借料	114,212 円	57,600 円	56,612 円	パソコンリース、ネットワーク代 事務所費(光熱費込)
使用料及び賃借料	120,000 円	20,000 円	100,000 円	会場費
役務費	0 円	46,054 円	-46,054 円	チラシポスティング、振込手数料
消費税	138,822 円	127,728 円	11,094 円	
合 計	1,527,039 円	1,405,010 円	122,029 円	

【中小企業振興円卓会議】
令和7年度専門部会 活動成果報告書

活動名	女性管理職が少ないのは女性の意識が低いから？ ～地域と首都圏、性別での勤労意欲と成長意欲を調査～
部会名	女性活躍推進部会
部会長・副部会長名	部会長 堀田真奈
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
構成メンバー	—
事業期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
事業費 (うち補助金)	1,300,000円(1,300,000円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>1. 調査の背景 愛媛県および松山市では、20代女性の県外流出を喫緊の課題と捉え、女性や若者を対象としたさまざまな施策が展開されている。一方、企業現場では「女性管理職登用が進まない理由は、人数の少なさに合わせ、女性自身の意識や昇進意欲の低さにあるのではないか」という見方が根強く存在している。 しかし、今後さらに深刻化する人手不足の中で、女性を旧来型の「補助的・非正規的な労働力」として位置づけ続けることは、企業経営にとっても地域経済にとっても大きなリスクである。 2026年4月には、女性活躍推進法の改正により、従業員101人以上の企業に対して女性管理職比率等の公表義務が拡大されることが決定しており、企業には意識論ではなく、実効性ある対応が求められている。 本調査は、下記を目的として実施した。 ・「女性管理職登用が進まない理由が本当に女性の意識が原因なのか」を、データに基づき検証する。 ・今後の女性のキャリア支援や管理職昇進を支援するための施策を明確にし、企業内での男女の賃金やキャリア形成の格差解消を推進するための具体的な取り組みを進める基盤を地域全体に広める。</p> <p>2. 調査担当者とのミーティング(4～12月まで、オンラインで合計31回) →この事業の確認(目的、概要、予算や調査項目抽出と仮説出し、調査したい内容の整理) <調査の流れ> ①過去の調査や既存の情報で分かる内容は調査して整理する ②Yahoo!クラウドソーシングでアンケート調査 ③愛媛新聞でのアンケート調査、分析とディープインタビュー候補選定 ④ディープインタビューの実施(10名予定→結果7名が回答) ⑤提言のための資料作成 ⑥プレスリリースもしくは公的は場所での発表(まつやまウェルビーイングサミットにて発表) ※アンケートの結果は別紙参照</p> <p>●Yahoo!クラウドソーシングを通じて、アンケート <女性向けアンケート> https://crowdsourcing.yahoo.co.jp/request/detail/3589464546 <男性向けアンケート> https://crowdsourcing.yahoo.co.jp/request/detail/3589465753 ●愛媛新聞社にてアンケート開始(愛媛側のアンケート数を増やすため) https://www.ehime-np.co.jp/online/form/enquete_hikidashi_workstyle</p> <p>12月19日(金)「まつやまウェルビーイングサミット」(自主事業)内にて結果発表</p>
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <p>①企業向け、行政(地域)向けの提言はできたが、今後それをどう活用してもらうか。 ②内閣府や、メディアにも関心をいただけたことから、2026年4月からの女性活躍推進法の改正に伴い、この結果をもとに広く社内あるいは行政での課題に活用していただくための啓発を行う。</p>
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p>

【中小企業振興円卓会議】
令和7年度専門部会 収支決算見込書

資料1-3

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
活動費	1,300,000 円	1,300,000 円	0 円	松山市補助金
法人負担	0	799 円	-799 円	
合 計	1,300,000 円	1,300,799 円	-799 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
委託料	900,000 円	900,000 円	0 円	・Yahoo!クラウドソーシングを使用したアンケート ・アンケート設計(仮説出し、整理、含) ・アンケートの実施におけるサポート ・アンケート結果の分析とレポート
委託料	150,000 円	165,000 円	-15,000 円	愛媛新聞IDを使ったアンケートシステムの利用料と伴走
報償費	20,000 円	14,000 円	6,000 円	個別インタビューの謝礼(2,000円クオカード等)×7名
印刷製本費	110,000 円	6,083 円	103,917 円	調査に係るレポート等の印刷
企画管理費	120,000 円	213,800 円	円	企画及び個別インタビュー等
		1,916 円	-95,716 円	旅費交通費 1,450 通信費 180 支払手数料 286
合計	1,300,000 円	1,300,799 円	-799 円	

【中小企業振興円卓会議】

令和7年度専門部会 活動成果報告書

活動名	デジタル社会促進事業
部会名	デジタル社会促進部会
部会長・副部会長名	桑波田 健
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、松山ローカル大学
事業期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
事業費 (うち補助金)	940,000円 (940,000円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>松山ローカル大学と連携し、市内大学の情報系学部等で学んだ学生の地元定着を促し、市内企業がその雇用の受け皿となるような機運醸成を目的としたイベントを開催した。</p> <p>○イベントの概要 日時: 令和7年10月10日(金)18:30~20:40 会場: 松山三越E3ホール 内容: 2つのトークセッションを実施</p> <p>(1)開会挨拶 愛媛県中小企業家同友会 副代表理事 桑波田 健 (2)第1部「AI・デジタル活用と松山市企業の未来」 登壇者: 小平 勤太(小平株式会社 代表取締役社長) 臼井 隆秀(インタラクティブ株式会社 代表取締役社長) 宮嶋 那帆(株式会社ローカル大学 代表取締役) 坂本 大典(株式会社XLOCAL 代表取締役)</p> <p>主に県外でAI、デジタル技術を取り入れて事業を行っている事業者による取組の紹介などを交えたトークセッションを行い、生産性の向上を目指す中小企業やこれから就職する学生の参考にもなる近年のAI、デジタル技術の活用について情報共有が行われた。</p> <p>(3)第2部「デジタル人材のキャリアと採用」 登壇者: 小平 勤太(小平株式会社 代表取締役社長) 植松 洋平(株式会社テックアイエス 取締役社長) 大西 竜治(WM&Creators株式会社 代表取締役) 稲見 益輔(株式会社ローカル大学 取締役)</p> <p>主に県内でAI、デジタル技術を取り入れて事業を行っている事業者による取組の紹介などを交えたトークセッションを行い、松山市内のデジタル化の現状やデジタル人材のキャリアや採用などの話題から、これからの企業や学生のデジタル技術との向合い方の参考となる議論が行われた。</p> <p>イベントには、約90名の出席があり、開催後のアンケート(別添)では、全ての回答者から「多く役立つものがあった」又は「役立つものがあった」との回答が得られた(アンケート回答率:61%)ことから、参加者のAI・デジタル活用の機運醸成を促進することができたと考えられる。</p> <p>また、AI・デジタル活用をすすめる上での課題やその他意見についても、参加者からアンケートでの回答があったため、今後の中小企業でのAI・デジタル活用の推進を進める上で参考にしていきたい。</p>
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <p>イベントでは、アンケートの結果等から、市内記業のAI・デジタル化に向けた機運醸成に一定の成果があったものと考えられる一方で、市内には、まだデジタル化に着手できていない中小企業も多い。このため、来年度以降も機運醸成を促進するイベントを継続するとともに、デジタル化以外にも物価高騰、人手不足など、複合的な課題への対応を求められている中小企業の現状も踏まえ、経営者の自己研鑽、経営方針の確立など、経営の根幹に関わる内容を学ぶ「経営力」の向上を目的とした講座を実施することが有効と考えられる。</p>
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p>

【中小企業振興円卓会議】
令和7年度専門部会 収支決算見込書

資料1-4

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
活動費	940,000 円	940,000 円	0 円	中小企業振興円卓会議 (松山市補助金)
	円	円	0 円	
合 計	940,000 円	940,000 円	0 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
委託費	940,000 円	940,000 円	0 円	委託先:株式会社ローカル大学 人件費・チラシ制作費・印刷費・講師謝 金・交通費・会場費・会議諸経費等
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
合 計	940,000 円	940,000 円	0 円	

AI・デジタル活用と 松山市企業の未来

2025 **10.10** 金

18:30 - 20:40 (受付開始 18:00)

場所 松山三越E3ホール

主催：愛媛県中小企業家同友会 松山市中小企業振興円卓会議専門部会事業



小平 勤太氏
小平株式会社
代表取締役社長

植松 洋平氏
株式会社テックアイエス
取締役社長

宮嶋 那帆氏
株式会社ローカル大学
代表取締役

大西 竜治氏
WM&Creators株式会社
代表取締役

白井 隆秀氏
インタラクティブ株式会社
代表取締役社長

AI・デジタル活用と松山市企業の未来 開催報告書

○参加者数

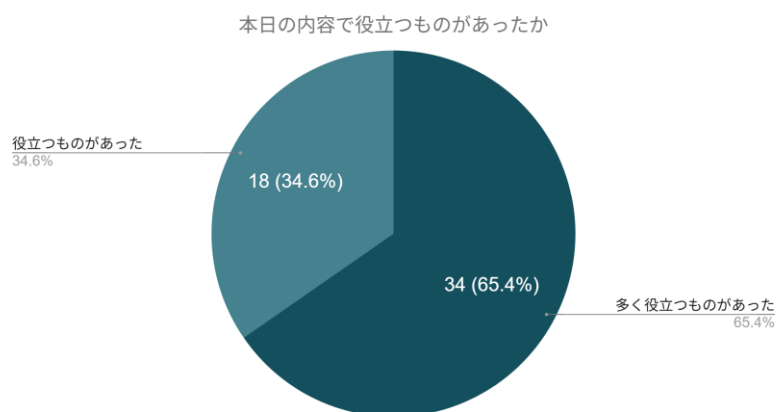
申込み人数 100名
会場参加者 85名

○アンケート結果

回答数 52名

本日の内容で役立つものがあったか（4段階評価）

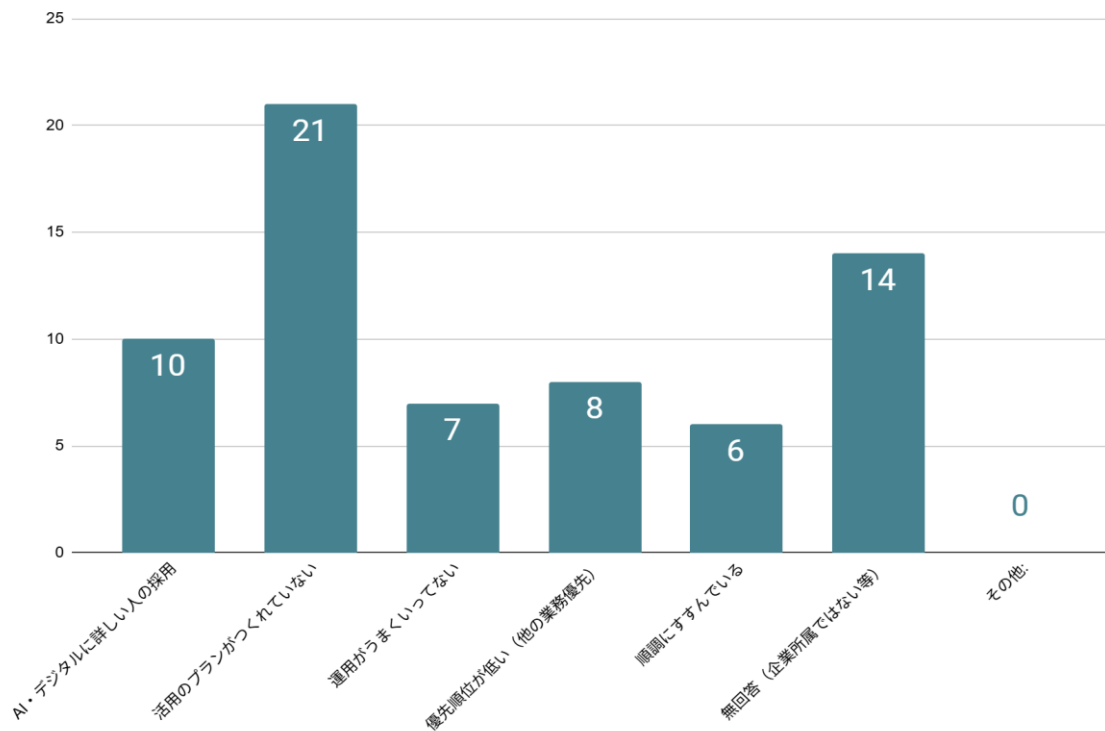
- 多く役立つものがあった
- 役立つものがあった
- 少なかった
- なかった



企業の方向け：AI・デジタル活用をすすめる上での解決できていない課題（複数回答可）

- AI・デジタルに詳しい人の採用
- 活用のプランがつくれていない
- 運用がうまくいってない
- 優先順位が低い（他の業務優先）
- 順調にすすんでいる
- 無回答（企業所属ではない等）

AI・デジタル活用をすすめる上での解決できていない課題



その他、ご意見ご感想等

- 植松さん最高でした
- 小平さんと宮崎さんの話が特に実践的でめちゃくちゃ面白く、2時間があっという間でした！
- ありがとうございます
- とても勉強になりました！
- セキュリティ等のリスクはどう考えているか気になった
- IT企業を経営しております。大変参考になるお話を、ありがとうございました。
- とても納得できた
- まず使う人を増やしたい
- 非常に為になりました。ありがとうございました♪
- 採用は戦争 と思って外に発信している経営者の熱が素晴らしいと思いました。
- すごく分かり易かったです。
- 松山市の企業を含め、課題や成功事例の具体的なエピソードをもっと話してくれるとより分かりやすくて良かった。
- 情報系学生の参加が無いのが意外でした。
- 刺激になりました。
- 中小企業の中では進んでいる部分がおおいと感じましたが、まだまだ自動化できると刺激を頂いた時間でした。ありがとうございました。
- 稲見さん 企画から運営まで大変お世話になりました。大変充実したイベントになりました。これは、第2回 必要だと思いますまた、ご相談させてくださいませ。
- 中小企業がAIの活用を進めることの道筋などが分かって良かった
- とても分かりやすく楽しいセミナーでした。関わってくださった皆さんに感謝します！
- 学生として採用に対して多くの学びがありました。企業が抱える課題やDX化の現状を知ることができ、AIに勝つ人間力が必要だということが1番印象的でした！
- aiについて詳しく知れて良かったです！とても楽しく学べました。ありがとうございます。
- 農業や漁業にデジタルを掛け合わせて、新たな雇用を創出できるようになれば地域活性化に繋がると思った。

以上